

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）

平成25年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
焼岳火山地域における振動計ならびに傾斜計データの利用による質量移動検知システムの開発研究 (研究期間：H25年～H27年)	京都大学 准教授 大見 士朗	B
<p><研究概要></p> <p>本研究は、飛騨山脈の焼岳火山周辺を対象として、振動計（地震計）を用いた地動波形データによる土石流等の発生場所と時刻を同定するシステムの開発、ならびに特定の観測点に併設する傾斜計のデータの解析によりその質量を推定することを目的としたものである。</p> <p>前者については同地域で蓄積している過去の観測データを用いて解析システムを作成して試験解析を実施し、土石流の発生位置、時刻とも、現地調査結果と調和的な結果が得られ本手法の有効性が確認された。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>本研究は、焼岳火山周辺地域を対象として、現地のモニタリングや震動計データの解析によって土石流の発生位置・時刻を推定できる方法を提示しており、防災面での初動体制の構築に対して期待できるものである。</p> <p>なお、傾斜計のデータ解析により土石流の質量を推定する検討は十分ではなく、今後のフォローが必要である。</p> <p>今後は、本研究と砂防分野における震動特性に関する既往研究との関係等の分析を実施し、実用化に向けた検討を進めて頂きたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い